ALPHARD/VELLFIRE
(DBA-ANH20/25)
(DBA-GGH20/25)
取付説明書

ALPHARD/VELLFIRE(DBA-ANH20/25)
(DBA-GGH20/25)
取付説明書

このたびは当社ヒッチメンバー をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本品を安全に正しくご使用頂く為にこの取付説明書と後頁取扱説明書をよく読み確実に取付けて下さい。

≪取付上の注意≫

◆取付作業前に構成部品の不足、不良等をご確認下さい。
◆製品の製造、梱包等には万全を期しておりますが、万一部品の不足、不良等ございましたらお買上げ販売店までご連絡下さい。
◆TYPE-Ⅰ/Ⅱヒッチの場合は※印のボルト・ナット（クロスメンバー部に使用）はステンレス製になります。ステンレスボルト・ナットは機械工具を使用すると焼き付くおそれがありますので､必ずラチェット､スパナ等を使用し、手でゆっくりと締め付けて下さい.
◆ドリルで穴を開ける必要のある車種は、電気配線等に気を付けて施工して下さい。
◆バンパー脱着の必要がある車種は、はめ込み部分の破損に十分注意して下さい。
◆穴あけ加工の必要な車種は、位置を十分確認した上で穴あけ加工して下さい。

≪構成部品≫

No	部　品　名	数量
1	クロスメンバー	1
2	サイドプレート	2
3	ボールマウント	1
4	ヒッチボール	1
5	ボールマウントキー	1
6	６芯配線	1
7	車側配線コネクター	1
8	M６ナベボルト・ナット	各2

No	部　品　名	数量
9	六角ボルト（M１２×４５×P１.２５）	6
10	ステー付ナット（M１２×P１.２５）	6
11	※六角ボルト（M１２×４０×P１.７５）	4
12	※ナット（M１２×P１.７５）	2

■取扱注意事項

●このヒッチメンバーで７５０ｋｇ以上（車種によっては４００ｋｇ以上）のものや、自動車などを牽引しないで下さい。

●出発前の点検時に歪み、亀裂、ボルトの緩み、脱落等を発見した場合は直ちに使用を中止して下さい。

●トレーラー牽引中は、起伏の激しい道路や、舗装されていない道では必ず徐行して下さい。

●他の車を牽引したり、人が乗って不必要に揺らす等のトレーラー牽引以外の負担の掛かる行為は絶対にしないで下さい。

●分解・改造は強度低下につながりますので絶対にしないで下さい。

●ヒッチメンバーを取付けると地面とのクリアランスが少なくなりますので、勾配の付いた出入口や車止め等に当てないように注意して下さい。

●最大垂直静荷重（カプラー荷重）が１０ｋｇ以上４５ｋｇ以下の範囲を超えないようにトレーラー積載物を調整して下さい。

●車側ポジションランプ、ハザードランプ等電気が流れている状態で、電気配線カプラーの抜き差しを行わないで下さい。

■走行前は必ず以下の点検を行って下さい。

●各溶接部の亀裂の有無。●各取付ボルトの緩み、亀裂、脱落。

●灯火類の点灯確認。●ヒッチボールの緩み、偏磨耗、亀裂。

●ボールマウントの亀裂、歪み●ボールマウントキーの装着確認

■タイトヒッチ取付ボルト標準締付けトルク

このたびは当社ヒッチメンバーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にご使用していただく為にトルクレンチ等を使用して、下記締付けトルクで確実に締付けて下さい。

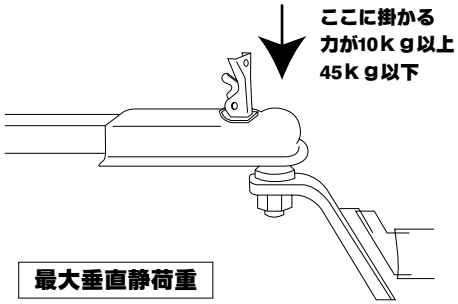
ボ　ル　ト　名　称	サイズ	標準締付けトルク（N/m）
電気配線コネクタ取付ボルト	M6　並目	5．2
ヒッチ取付ボルト	M8　並目	25
	M10　並目	12．2
	M10　細目	50
	M12　細目	90
	M12　荒目	76
	M14　細目	140
	M14　荒目	122
ヒッチボール取付ナット	M27	900

■ヒッチメンバーの許容範囲

ヒッチメンバーの許容範囲についてA、B、Cクラスと牽引能力を定めております。

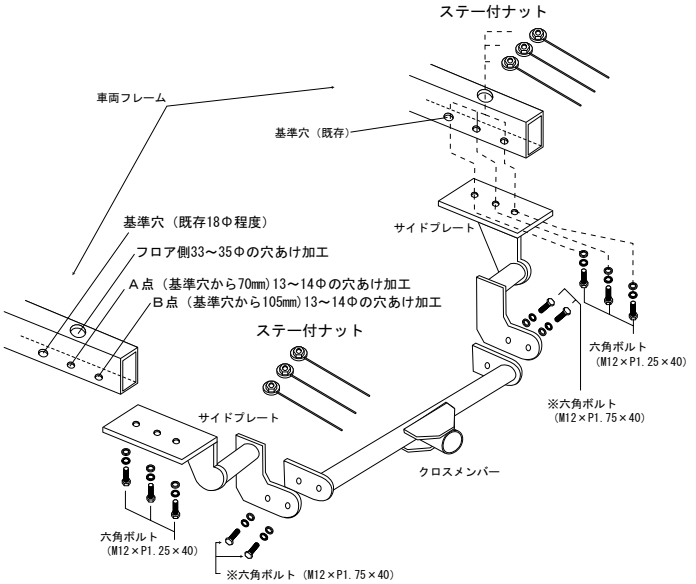
A…車両総重量４００ｋｇ以下のトレーラー
B…車両総重量５００ｋｇ以下のトレーラー
C…車両総重量７５０ｋｇ以下のトレーラー
最大垂直静荷重（止まっている状態でヒッチボール部分に垂直に掛かる荷重）は１０kg以上４５kg以下

キャンピングトレーラーの場合、トレーラーの車検取得時に車両総重量７５０kgで登録されていても、実際の使用時には総重量を超えている場合が多く見られます。ガスボンベ、エアコン、その他のオプション部品と家具（テレビ、レンジ、食器）などが検査の後に積み込まれますので、かなりの重量になります。特に危険であるヒッチボール部分にかかる最大垂直静荷重（カプラー荷重）も許容範囲を超えてしまいます。ボートトレーラーの場合でもボートの積載位置や、セッテイングが悪いと同じことになります。当社の推奨する最大垂直静荷重（止まっている状態）は10kg以下45kg以上です。すなわちトレーラーのカプラー部分を人の力で持ち上げることができる位としています。仮に最大垂直静荷重が45kgとした場合、実際に車が走行すると45kg×2.5倍＝112.5kg位の力が車の最後部に掛かる計算になります。



ヒッチメンバーの許容範囲はもちろんカプラーに掛かる垂直荷重の方が十分に注意が必要です。最近の衝撃吸収ボディー車や燃費向上を図った軽量化のため、特にモノコックボディー車車両の取付部分が弱く、破損する恐れがあります。そう言ったことが起こらないよう、トレーラー車両総重量を必ず厳守していただき、キャンピングトレーラーは荷重が前方（カプラー部分）に掛かり過ぎないように室内の荷物を調整し、ボートトレーラーもボートの積載位置を調整するなどしてください。
どうしても許容範囲を超えて使用する場合はヒッチメンバー及び車体の強度を増す改造が必要です。詳しくは弊社又は販売店にお問い合わせください。
ヒッチメンバーの牽引能力、ヒッチボール部分に掛かる最大垂直静荷重（カプラー荷重）の許容範囲を超えてのご使用は当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。

■取付工程



1.車両フレームの基準になる穴（既存18Φ程度）の中心から車両後方へ70mm（A点）と105mm（B点）の位置に13～14Φの穴あけ加工します。
（車両横方向はフレームの中心）(左右共同じ加工)
※左写真は車両左側モノコックを下からみた写真です。

2.A点から車内フロアへ下穴（6mm前後）をあけて、フロア側からホルソーで、33～35Φの穴あけ加工します。
※フロアカーペットはめくっておいて下さい。
（フロアへ穴あけしたくない場合は、基準穴から車両前方でも可）

3.フロア側に開けた穴から、ステー付ナットを各穴にセットします。(片側3箇所)

4.サイドプレートを仮付けします。(まだ本締めしないで軽く締める程度にしておきます)

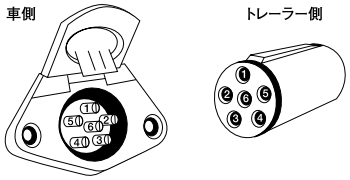
5.メインバーとサイドプレートを分割ボルトで固定します。

6.サイドプレート（車両フレームとサイドプレート）を固定します。

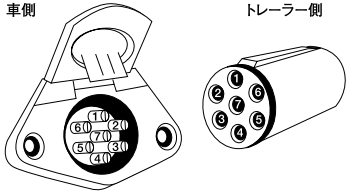
7.ボールマウントを取付けて、ヒッチボールを固定して完了です。

取扱説明書

■電気配線コネクター配線図



●６極配線ケーブルの接続
1.赤＝ブレーキ
2.白＝左ウインカー
3.黄＝右ウインカー
4.青（茶）＝バック
5.緑＝ポジション
6.黒＝アース



●７極配線ケーブルの接続
1.黒＝アース
2.　＝未使用
3.白＝左ウインカー
4.赤＝ブレーキ
5.黄＝右ウインカー
6.緑＝ポジション
7.青（茶）＝バック

■電気配線注意事項

下記車種について電気配線をすることで車に障害がおこる場合があります。
電気配線を施工する前に必ず販売店又は自動車ディーラー、修理工場にご相談下さい。
〇ハイブリッドカー
〇ＬＥＤテールランプ等を有する車種
〇車両の電装系統が、電子制御されている車種

●電線が触れてショートしないように注意して下さい。
●ボディとの摩擦、接触がある場合はテープ等で保護して下さい。
●電気配線コネクター側に差込む配線先端は弱いので必ずハンダ付け、もしくは専用端子を取付してから差込んでしっかりと締め付けて下さい。
●配線終了後は、トレーラーと連結して点灯確認して下さい。
●防水の為、差し込み側と配線側にグリスアップして下さい。
●車外にでた配線は、走行の支障がでないよう、タイラップ等で固定して下さい。